

おもしろ

巻物の面白さ



さねあつ せっしゅう さんすいちょうかん ふくせい
実篤が巻物〈雪舟「山水長巻」(複製)〉
を見ている様子

表面の作品を
開けるサイズで見ると…

長い巻物に描かれた絵は、見ることができる場所が
限られます。だから、人が手に取って広げられる長さ
を考えて描かれています。場面が次々と変化していくのは、
画家が工夫をするところです。

日本には古くからお話と絵が交互にかかれた
えまきもの
絵巻物があり、みんなが大好きな

アニメーションの原点

とも言われています。



この画から連想した
れんそう
お話しを作ってみよう。

この作品を描いた画家

いけのたいが
池大雅 (1723—1776年)

江戸時代の画家で、
ぶんじんが かくりつ
文人画のジャンルを確立しました。

ほかにどんな
作品があるかな？

●ほかに巻物に描いた作品はたくさんあるよ。
どんな作品があるかな？ いろんな画集を見よう。

もっと知りたい

武者小路実篤

美術品に親しむ 1

まきもの

巻物のひみつ

いけの たいが

きょっこう こうらく ず かん

池大雅 「曲江行楽図巻」

これは、武者小路実篤が集めた美術品のひとつです。
美術品をじっくり見ていると、
いろんなことが見えてきます。
感じたこと、発見したことを書き出してみよう。

この長い巻物は、右から左へと見てゆきます。
どんどん風景が変わってゆくのがわかるかな？

作品寸法：26.0×124.0cm

■描かれた風景の場面は、どこで変わるかな？
■どんなところの風景かな？
感じたことを書いてみよう。

■変わると思ったところに線を引いてみよう。
■何が描かれているかな？
見つけたことを書いてみよう。

